

授業科目名	教育改革の国際比較
科目番号	CB25221
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB月6
担当教員	菊地 かおり
授業概要	諸外国の教育改革に着目し、各国が取り組む教育をめぐる現代的な諸課題について、日本も含めた国際比較の観点から考察する。授業では、前提となる各国の教育理念・制度・政策についての理解を深めつつ、シティズンシップ教育、移民の教育、ユネスコが推進する国際的な教育プログラム、新自由主義的な教育改革、国際学力調査など、受講生の関心を加味しつつテーマを決定し、国際的な教育改革の動向と各国の対応について検討する。外国語（主として英語）の原典を参照しながら授業を進める。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	国際性を高め、教育における課題を発見し、分析する能力の育成を目指す。 専門コンピテンスの「教育学の基礎的体系的知識」及び「教育学における総合的思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国と日本における教育改革の潮流とそれを支える理論・制度・実践を理解する。 ・ 国際比較研究の視点と方法について理解を深める。 ・ 現在の教育改革を批判的に分析する視点をもつ。
授業計画	<p>教育改革の潮流や国際比較研究の手法について概説しつつ、学生の発表をもとに議論を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2～3. 教育改革の潮流及び基本概念に関する講義 4～5. 国際比較研究の手法についての講義、テーマ決め 6～19. 受講生による発表及び議論 20. 授業全体の振り返りとまとめ <p>受講生による発表を行います。発表の際にはレジュメの準備が必要です。</p>
成績評価方法	授業中の議論への参加（20%）、各国の教育改革に関する発表（30%）、最終レポートの提出（50%）
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	関連する資料や論文を自分で積極的に収集して読むようにしてください。
教材・参考文献・配付資料等	主要なテキストは各自が購入します。その他、参考文献等はこちらで配布します。
オフィスアワー等（連絡先含む）	随時（要事前連絡）
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	諸外国の教育改革は、日本における教育のあり方に少なからず影響を与えています。それらを批判的に捉え直すことで、教育の別様のあり方について考えるヒントが得られると思います。知的好奇心をもちつつ、議論を通じてお互いに学び合ひましょう。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	教育改革、国際比較、グローバル化、ナショナリズム、新自由主義、シティズンシップ教育、移民の教育、ユネスコ、国際学力調査